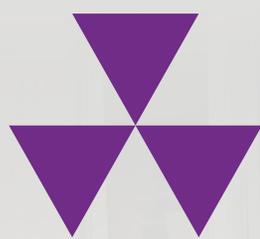


DOSHISHA TOKYO JOURNAL

東京

2020 Winter

No.118



同志社

ジャーナル



INDEX

新春挨拶

児玉正之東京校友会会長

横山徹代表幹事 評議員・幹事の改選と ALL DOSHISHA 募金

吉岡哲郎2020年春の集い実行委員長

特別協力会員の集い/リユニオン&ホームカミングデー

同志社フェア in 富山

特別講演会・谷村鯛夢さん/親睦ゴルフコンペ

登録団体紹介・同志社東京メディアクローバー会

同志社スポーツ・相撲部

片桐家同志社五代記(三十一)/今出川・京田辺四季

校友訪問・ファンケル 島田和幸さん

平成・令和卒業の校友クローズアップ・吉田太郎さん

関東同志社スポーツユニオン総会

首都圏 校友の店・ティーショップ TE HANDEL

評議員会・幹事会報告/すみれ亭句会/告知・生誕の地碑前祭

同志社東京校友会

表紙写真 ホームカミングデー 応援団演舞

2020年新春のごあいさつ 同志社東京校友会会長 児玉正之

# 謹賀新年！東京校友会のさらなる飛躍を期して！

東京校友会は皆様のご支援・ご協力のもと、事業を行ってまいりました。今年も強固な「礎」創りと校友の皆さんに喜んで「群れて」いただける「新しい事業」にチャレンジを続けます。



本年もよろしく  
お願いいたします

校友の皆様、新年明けましておめでとうございます。

はじめに、東京校友会活動へのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

昨年は新天皇陛下が即位され、元号が平成から令和に変わって、新しい時代が幕を開けました。

一方で、自然災害が多発しました。一連の台風などで被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

同志社東京校友会会長 児玉正之

# 謹賀新年！東京校友会のさらなる飛躍を期して！

東京校友会は皆様のご支援・ご協力のもと、事業を行ってまいりました。今年も強固な「礎」創りと校友の皆さんに喜んで「群れて」いただける「新しい事業」にチャレンジを続けます。

ラグビーワールドカップが日本で開催され、「ブレイブ・プロツサムズ」様の大活躍に日本中が興奮し、熱く燃えました。

感動をありがとうございます！ 感謝！ G20が大阪で開催されましたが、依然、国の内外では様々な問題が発生しております、とりわけ地政学的リスクの高まりは心配です。

今年こそ、災害や悲惨な事件・事故のない一年でありますよう祈念いたします。

昨年の東京校友会の活動を振り返ると、生誕の地碑前祭後のイベントに始まり、「初夏の集い」、総会、ゴルフ大会、特別協力会員の集い、またセミナー等「群れる」機会に多くの校友の皆様に参加いただきました。

準備・運営いただいた常任幹事

や委員の皆さんに感謝します。

今年「東京オリンピック・パラリンピック」が1964年（昭和39年）以来56年振りに開催されます。大会のビジョンは「スポーツには世界と未来を変える力がある」とのことです

が、良い方向に変わる事、また選手・チームの活躍で沢山の感動を期待いたします。

同志社大学は「ビジョン2025」など功績を残された松岡敬学長の任期満了に伴い、4月からは女性初の学長、植木朝子学長体制がスタートします。

同志社は今年145周年、大学令による大学として百周年の年です。5年後の2025年には創立150周年を迎えます。

今年も原点に返って校友の「親睦」を深め、校友の「輪」を広げ、

校友の「絆」を確かめ合える事業を進めていこうと考えております。

加えて大学・学生への支援活動と関東圏での同志社のプレゼンスを高める事業を強化します。

基盤となる会員拡大について、校友の皆さんのご協力をお願いいたします。特に幹事・評議員の皆さんには年次会・各団体を通じて会員拡大について絶大なご支援をお願いいたします。

関東圏には毎年大勢の就職者が配属されます。

一人でも多くの校友が校友会の「輪」に入ってもらうために、校友会の存在を幅広く告知する活動を進めてまいります。会員拡大が最大課題と位置づけて取り組みます。

「春の集い」は5月31日（日）に開催致します。吉岡哲郎実行委員長はじめ実行委員の皆さんが準備を進めております。校友の皆様の参加をお待ちします。

昨年は関東圏出身学生への給付型奨学金4名枠に対し、6名に支給しました。奨学金募金もよろしく願いたします。



東京校友会の活動を担う常任幹事会のメンバー

「ビジョン2025」を支える

「ALL DOSHISHA 募金」はこの2年で2946人の校友から2億4千万円が集まり5億円を突破しましたが、まだまだ校友の皆さんに告知出来ていません。昨年お配りしました募金缶（クラーク缶）を皆さんの「良心」で満たしていただき、一人でも多くの校友からの募金をお願いいたします。

最後に校友の皆様のご活躍、ご健勝を祈念申し上げます。



横山徹代表幹事

代表幹事からのアピール

評議員・幹事の改選と

同志社大学2025

ALL DOSHISHA 募金

会員の皆様。日頃は東京校友会の諸活動にご尽力いただきありがとうございます。さて2020年度は評議員・幹事などの改選の年になります。また同志社大学創立145周年で2025募金活動も最初の節目を迎えます。今号では、この2点についてご報告とお願いをさせていただきます。

■役員など改選にあたりお願い

既に2019年度の評議員会・幹事会でご説明させていただきましたが、本年度は東京校友会の会則に則り、3年に一度の評議員・幹事・常任幹事など役員改選の年になります。

そこで年次会・学部別同窓会・クラブOB/OG会・企業内同志社・業界別同志社・サークルなど登録団体から選出いただいている役員等の改選・追認

などの手続きを行います。

大変恐縮ですが、所属団体内でご協議・ご調整をしていただき、校友会事務局に2月末までに報告をお願いします。

なお、本件に関してさらに詳細内容についてお聞きになりましたら、ご遠慮なく事前に事務局にご相談ください。

■2025 ALL DOSHISHA 募金のご報告

2017年10月から開始されました同志社大学創立150周年記念事業「2025 ALL DOSHISHA 募金」活動について、全国・東京地区の進捗状況の報告と改めてのお願いをさせていただきます。



10万円以上の募金で掲載される良心館の銘板

①募金の概要(再)

- ・ 期間 2025年度末まで
- ・ 目的と使途(別表)
- ・ 目標金額 50億円
- ・ 税制措置 個人法人とも有り

②他大学の状況(再)

既報にありますように早稲田・慶應義塾・立教など在京大学は事業収入に対する寄附比率がかなり高いが、同志社大学は主要10大学の中でも少ない。

③全国の進捗状況

- ・ 2019年10月末現在実績
- ・ 合計金額 5億4400万円
- ・ 募金件数 3825件
- ・ 大学からの案内状発送 2019年5月
- ・ 182,352通
- ・ 寄付者銘板 法人団体184件、個人691名

④東京校友会の推進状況

・ 企業対応 在京企業で特に校友が代表を務める企業に対し

【募金の目的と使途】

VISION2025の事業推進

- ・ リーダー養成プログラム運営支援
- ・ グローバル化の促進支援
- ・ 高大接続プログラムの展開支援

奨学金給付

- ・ 特定寄付奨学金
- ・ 育英型奨学金

課外活動支援

- ・ スポーツ活動充実資金
- ・ 文化系公認団体活動充実資金

施設設備整備

- ・ 今出川校地新図書館建設
- ・ 新たな学生寮建設

てのアップローチ47社、訪問19社、募金実績5社

・ 会員個人の皆様へ「クラーク缶」の配布実施 春の集い・年次会OB/OG会等の登録団体の総会、各種校友会行事を通じて募金の説明とクラーク缶の配布を継続中

・ 年次会取り組み例 特に関東三五会では会を挙げて対応、370万円の募金実績

⑤お願い

募金活動も4年目を迎えて本格化しています。本会会員で企

業代表の皆様、クラーク缶をお持ちの皆様、同志社150周年事業の完遂のため、ぜひともご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。本件お問合わせは東京校友会募金担当まで。

文責/横山 徹(71年・工)



一人ひとりの「良心」で「クラーク缶」を一杯にしよう!





松岡学長の講演「同志社大学の今とこれから」

開会にあたり、児玉会長より特別のご支援をいただいている特別協会の皆様への御礼があり、続いて、松岡敬学長の講演会に移り「同志社大学の今とこれから」をテーマにご講演。

「学長を引き受けた時は、産廃問題がありマイナスからのスタートでしたが、同志社のブランド力向上へ努めてきました。今や、従来の『関関同立』から『関関近立』と言われる時代になっています。これは同志



松岡敬学長

社が偏差値からも、そういった同列イメージの「くくり」の上に位置したからです。

日本人と留学生がともに学ぶ『新しい教育寮の建設』やグローバル教育の展開としてドイツ・テュービンゲン大学での『EUキャンパス』が動き始め、志ある人物の養成のために佐藤優教授を中心に「新島塾」を開講。さらに、文科省や企業との連携を強化して共同研究を行っております。

また、スポーツを通じた体制構築のために『スポーツ憲章』を初めて制定いたしました。

これらの事業は皆さまの募金で行っておりますので、高額募金者への感謝会も始めました。引き続き『ALL DOSHISHA 募金』へのご協力をよろしくお願いたします」と熱くアピール。

第2部は伊藤藤誠さん（76年・商卒）によるコンサートを開催。伊藤さんは銀



新島襄生誕の地・学生会館に53名が集い、交流を深めた

# 「特別協力会員の集い」レポート

## 新島塾から生まれる

### 地球的視野を持つ人材

東京校友会に年会費1口2万円以上を納めていただいている方々による「特別協力会員の集い」が、11月19日（火）18時より学生会館で行われ、各企業の役員や国会議員・市長、弁護士、税理士など53名が参加。講演会とコンサート、懇親会で交流を深めました。



第2部の伊藤誠ミニコンサート

行マンと歌手を両立された後、2012年からは独立して音楽活動に専念。京都や赴任先のスペインを歌ったオリジナル曲を中心に、その甘い歌声に参加者が癒されるひと時でした。

懇親会は今年の新規入会者5名の自己紹介もあり、各テーブルを移動しながらの名刺交換など、大いに盛り上がりました。

文責／作村満明（77年・法）  
写真／新田博伸（77年・法）

今年も全国の校友が続々「リユニオン&ホームカミングデー」へ

# やっぱり秋の京都、 今出川キャンパスはえ〜なあ

清々しい秋晴れのもと 1800 名を超える卒業生が集った「リユニオン&ホームカミングデー」。同志社の「今を知り」そして「未来への取り組み」を感じる絶好の機会として、“学長講演「同志社大学の目指すもの」”や“学生による卒業生のためのキャンパスツアー”など、さまざまなイベントが催されました。



ホームカミングデー開会式(栄光館)

## 開会式は栄光館

懐かしい出合い。久しぶりの再会。児玉会長をはじめとする東京校友会のメンバーも栄光館に続々と集合し、約400名の校友による開会式がバイブオルガン

の荘厳な前奏、讃美歌234Aの斉唱で幕開け。そしてクローバークラブによる寒梅詩、八田総長・理事長の式辞、松岡学長・中村校友会副会長・玉村同窓会会長による歓迎のことばへと続き、カレッジソング斉唱、祈禱を終えて、い

よいよリユニオン&ホームカミングデー2019がスタート。各自がわくわく感をもって思い思いのイベント会場へ向かいます。

東京校友会の面々は、声を掛け合い同志社チャペル前に集合、プールの副学長にも参加いただき、新調された東京校友会旗のもと記念撮影。

**同志社の「今を知り」、  
「未来への取り組み」を知る**

最初のイベントである学長講演「同志社大学の目指すもの」は明徳館2階、明るくリニューアルされた素晴らしい21番教室で行われました。同志社200年の大計を俯瞰し、「ブランド力向上」「ニューリーダー養成・新島塾」「グローバル教育研究の展開」「同志社スポーツ憲章の制定」などについて熱く語りられました。

良心館1階ラウンジでは昼食を兼ねた卒業生交流レセプションが開かれ、八田総長・理事長、中村校友会副会長が挨拶。続いて11月8日(金)に行われた学長選挙で選出された植木朝



開会式での讃美歌斉唱(栄光館)



植木朝子次期学長と  
横山代表幹事のツーショット

子次期学長のお披露目がありました。同志社、初の女性学長誕生です。横山代表幹事とのツーショットをご紹介します。「よろしく!」

同志社の「今を知る」イベントの一つ「キャンパスツアー」は参加型。これは「学生による卒業生のためのツアー」で、10



同志社チャペル前にて 関東・甲信ブロックからの参加者

名の学生ガイドさんが自己紹介で「諸先輩方にいろいろと教えてもらいたい」と殊勝なコメント。参加卒業生は約30名。東京校友会メンバーで関東三五会の大先輩3名も参加して良心館を出発。寧静館を仰ぎながらアーチを通り抜け弘風館、ここで一息。写真撮影のあと正門へ向かいます。

同志社創立65周年にあたる1940年（昭和15年）に新島襄先生永眠50年を記念して建てられた「良心碑」「良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ」の前で、ガイドさんがこの言葉読めますかと、と問いかけ。すかさず卒業生が「りょうしんのぜんしんにじゅうまんし

たるますらおの：」。さすが皆さん読めるのですねとお褒めの言葉とともに、学生ガイドの皆さんの俄か勉強（笑）が露呈した瞬間でした。

一方、卒業生の方は年代を超え、40年、50年前の思い出話を一生懸命懐かしそうに学生ガイドさんに話しかけながらの会話。何とも言えないいい気分です。「ふくん、そうだったんですか」と優しく応答してくれる女子学生ガイドさん。微笑ましい雰囲気の中で、クラーク記念館前で「皆さん集まって下さ〜い」と恒例の記念撮影。

ハリス理化学館前では、この辺りが一昨年から昨年春にかけてのNHKの朝ドラ「まんぷ

く」の撮影場所であったと身振り手振りの熱演つきで、懇切丁寧な説明もありました。

明治の建築物として国の重要文化財に指定されているクラーク記念館や同志社チャペルでは、初めての館内見学という貴重な経験も。

最後は、良心館の3階にある「ラーニングcommons」。聞き慣れない情報を知識に、知識を創造に変えていく、ますます難しい「新しい学びの広場」だそうです。パソコンはもちろん、プロジェクター、スクリーン、電子黒板など多様な情報機器が至る所に配置されています。学生が主体的にミニ講演会や発表会、サークル活動、グループ討議などを行える。「何が出来るのかではなく、何がしたいのかで使い方が決まる」学びのスポットでした。

このように、「キャンパスツアー」はガイドさんも参加者も同志社人で、世代を超えて共に学べた大変有意義なひと時でした。

この他、一日県人会、野点、新島旧邸見学ツアーや同志社大学 Meahua Nohelaniani 演舞（フラダンス）など多彩なイベントも行われました。懐かしい



キャンパスツアー(上)学生ガイドさん勢揃い(左下)弘風館前にて関東三五会 右から、若林さん、洪水さん、上野さん(右下)「ラーニングcommons」にて

閉会式は良心館地下広場。応援団・チアリーダーと吹奏楽部による華麗なパフォーマンスと恒例の演奏曲。中でもいつも聞き慣れた「同志社大学追遥歌」は、女子学生トランペット奏者

3名による演奏が素晴らしく、ファイナレに相応しい感傷的で琴線に触れる想いで聞き惚れました。

締めは、「同志社ヒロス」とカレッジソング斉唱。最後に藤澤副学長による閉会の挨拶があり、「来年2020年は11月8日(日)に再会を」と誓いあって散会となりました。

文責/井上 護(68年・工)  
写真/仁藤正平(78年・商)

閉会式で再会を誓う

「同志社フェア in 富山」特別取材

# 北陸地域との 交流を深めて

東京駅から北陸新幹線で約2時間、立山連峰が美しい富山駅は、東京とは違う爽やかな紺碧の青空。駅前では、柳行李を背負った「富山の薬売り」の銅像が迎えてくれました。



砺波高校合唱部と同志社グリーククラブのジョイントコンサート

「立秋を過ぎたとは言えまだ残暑厳しい9月14日(土)、14時より「同志社フェア in 富山」が

同志社大学主催、同志社校友会共催で、富山国際会議場にて開催されました。最初の地域交流イベントには、富山県や富山市、県教育委員会や地元の新聞社、テレビ局の後援もあり、約350名の方々が集まりました。

第一部の「地域交流イベント」はまず、同志社グリーククラブのコンサートからスタート。「カレッジソング」や「若草萌えて」の曲で一気に学生時代へ引き戻してもらいました。

次に、同志社大学経済学部卒業で経済小説「ハゲタカ」などで有名な小説家真山仁さんによる文化講演会がありました。「視点の位置で、世界は変わる」というテーマで、ご自身の豊富な経験から、対立する日韓関係、アメリカ・中国と日本の考え方



真山仁さんの文化講演会

の違い等をお話され、それらの問題を俯瞰する「鳥の眼」を持つことの大切さを伝えてくれました。

続いて、富山県立砺波高校合唱部と同志社グリーククラブのそれぞれの公演があり、その後、ジョイントコンサートに移行。地元高校生とグリーククラブの歌声が美しいハーモニーを生み、素晴らしいステージとなりました。

そして、最後に高校ダンス部選手権で全国優勝を果たした同志社香里高校のダンス部OGによる演舞が披露されました。すべての観客を引き込む躍動感あふれる舞台。さすが全国一位をとったパフォーマンスに引き付けられました。

このイベントは地域の人にも無料で公開されており、富山県と同志社の交流と絆の強化に大



同志社香里高校ダンス部OGによる演舞

いに役立ったと思われま

第二部の卒業生交流レセプションには全国から約150名が参加。地元の名物「ますの寿司」や「氷見うどん」、そして、富山のうまい地酒がずらりと並び大盛況でした。こうして、富山で同志社のプレゼンス向上を目指したフェアは大成功のうちにお開きとなりました。

文責／作村満明(77年・法)  
写真／青木重之(78年・経)

# 特別講演会レポート



DOSHISHA TOKYO HUB

講師は谷村鯛夢(和典)さん

## 坂本龍馬や新島襄の夢を育んだ ジョン万次郎の西洋見聞録 「漂異紀畧」現代語訳を刊行して

エッセイスト・俳人／谷村鯛夢さん

「初めてアメリカの市民レベルの教育を受けた人」ジョン万次郎の夢と、「初めてアメリカの大学を卒業した人」新島襄の実践。

9月12日(木)、2019年度2回目の特別講演会が開催され、44名の校友が参加。訳者持ち込みの文庫本

は即刻完売しました。

講師は、出版プロデューサー・エッセイスト・俳人で、高知県室戸市出身の谷村鯛夢(和典・72年・文)さん。

谷村さんは、長年婦人画報社で女性誌の編集に携わり、2005年からは、出版プロデューサーとして、文庫・新書・単行本などの企画・編集・刊行を手掛けている方です。また、プロの俳人としても、俳句結社「炎環」同人会長として執筆・指導・講演を積極的に行っています。

この「漂異紀畧」は、鎖国時代の江戸末期に土佐の無学な漁師であった14歳の万次郎少年が、足摺岬沖で遭難・漂流し、無人島である鳥島に漂着して生き延び、米国捕鯨船「ジョン・ハウランド号」に発見救助。その後、ボストンに渡り、ホイットフィールド船長の庇護を

受けて市民レベルの教育や船員としての専門教育を受け、世界を股にかけて捕鯨操業し、さらにカリフォルニアの金鉱山で資金を得て、日本に強行帰国。紆余曲折は経るものの、旗本に取り立てられ、幕府軍艦教授所教授に就任。

勝海舟で有名な「咸臨丸」太平洋横断に同乗米海軍軍人の通訳として同行。裏話として、船酔いで役に立たない勝以下の日本人の代わりに、米海軍軍人とともに操船したこと。

新島襄は、幕府軍艦操練所に学び、帰国早々の万次郎から米国の最新情報・知識を学んだようであり、向学心・改革の意識に火が付いたのではないかと

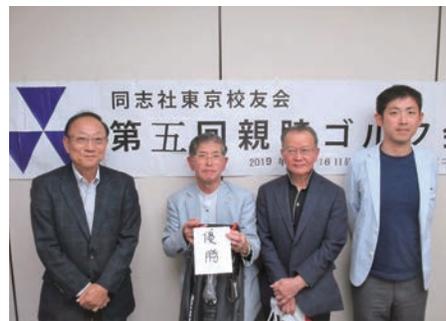
まさに万次郎の遭難は、「40年先の未来社会」へのタイムマシンであったのだ。こんな面白い話、聞き逃した方はぜひ「漂異紀畧」をお買い求めください。

文責／青木重之(78年・経)



「漂異紀畧」(講談社学術文庫)

## 第5回親睦ゴルフコンペ開催 優勝は46会B



チーム戦優勝の46会B

2019年10月16日(水)、絶好のゴルフ日和に恵まれた千葉の太平洋クラブ市原コースで第5回親睦ゴルフコンペが開催された。

総勢43名の男女が集い、年次会やクラブ、同好の仲間がチームを組んで熱戦を繰り広げた。競技は新ベリア方式で、チーム戦は一組の中のネット上位3名のスコアが順位判定の対象だ。

優勝はネット222・6打で46会Bチーム。個人戦優勝の和栗清さんとベストグロス75の中川勝博さんを擁しての勝利。準優勝チームは個人戦準優勝の河

本和彦さんを含む48会。3位は50A会話ーズとなった。個人戦の上位3名は和栗さん・河本さん・吉野浩視さん。グロスの上位3名は中川さん・赤塚忠孝さん・大塚一郎さん。

表彰式は港草さんの司会進行で、太平洋クラブ賞(キャディバッグ)ほか飛び賞はじめ数々の賞が全員に行き渡り、パーティが盛り上がった。

今回の親睦ゴルフ第6回大会は10月14日(水)に開催予定で、詳細は今春別途ホームページに掲載され、参加受付は7月開始予定。

文責／近藤義彦(69年・経)



プレーの合間に記念撮影

連載 ④

登録団体活動レポート 谷村和典(22年・文)  
同志社東京メディアアクトローバー会

新会長のもと、さらに活発に！

「メディアの同志社」の伝統を受け継ぎ、さらにその流れを広く太く、ということとで、先に発足した「同志社(関西)メディアアクトローバー会」の動きを受けて2018年9月28日に発足したのが「同志社東京メディアアクトローバー会」でした。

その発足の様子は、本誌114号に掲載されていますので、当該記事をちよつと要約して紹介しておきましょう。——これは先に創立された同志社(関西)メディアアクトローバー会(会長・河内一友MBS毎日放送会長)の動きに呼応した流



東京都副知事に就任した宮坂前会長



瀬尾新会長(左)、宮坂前会長(中)、児玉東京校友会会長

れで、首都圏のメディア関係者有志が何回かの準備会を重ね、ようやくこの日を迎えたもの。ただ、どうしても関西の場合、新聞と放送ジャンル中心の「メディア」になってしまいます。そこで、雑誌・出版、デジタル・IT関係、広告・PR関連も含め、広範なメディア関係者を網羅できる東京・関東圏での「メディアアクトローバー会」発足が待たれていたわけです。——というわけで、満を持して発

団体概要

【団体名】	同志社東京 メディアアクトローバー会
【設立年月日】	2018年(平成30年)9月28日
【代表者】	瀬尾傑 (スローニュース代表取締役)
【会員数】	100名
【連絡先】	事務局/（株）コミュニケーションデザイン 寺石 Tel. 03-5545-1661

足した会の役員陣容が以下の通り。会長にはYAHOOの宮坂学会長。そして副会長にTSTAYAの創業者で知られるカルチュア・コンビニエンス・クラブの増田宗昭社長、大手広告代理店アサツー・デイ・ケイの植野伸一社長、あの文藝春秋の中部嘉人社長、コミュニティセッションデザインの木木剛社長というそうそうたる顔ぶれ。挨拶に立つた宮坂会長は、校祖新島襄をアメリカまで導いたワイルドローバー号にちなんでか「ワイルドに攻める！」と高らかに宣言したのでした。

こうして迎えた第2回総会の2019年9月20日のその日、YAHOOの会長を退任した宮坂会



放送、新聞、雑誌、デジタルメディア、IT、広告…同志社人脈は幅広く、深く

長の東京都副知事就任が発表され、当会の会長もやむなく辞任。これを受けて、講談社の「現代ビジネス」編集長などで活躍した瀬尾傑スローニュース代表を新会長に選出しました。瀬尾新会長は「情報の本質を問い直さなければならぬ時代だ」と語り、同志社メディア人の結束をアピール。さらに若い会員を励ますとともに新役員に若年層を起用し、大学との連携や勉強会、イベント、早慶のメディア会との連携など数々の新構想を披露しました。

現役ゼミ生が企業訪問

商学部の関智宏教授(中小企業論)と、3回生のゼミ生14人が11月上旬、東京で企業訪問をしました。「学生が経営のリアルを知ることが狙い」と関教授。訪れた企業の一つは、主にインターネットで経済メディアを運営するニュースピックスです。社長の坂本大典さん(09年商学部卒)が学生時代のエピソードから、ベンチャー企業の創業に至るまでの話を、ユーモアを交えながら熱く話しました。

起業に興味のある重田(じゅうだ)直人さんが、事業の立ち上げに関する詳細を尋ねるなど、学生たちから質問が相次ぎました。

文責/小野秀子(08年・文)



前列左より2人目が商学部関教授、3人目がニュースピックス坂本社長



主将としてチームをけん引した竹林

同志社スポーツアトム編集部/発

同志社スポーツ

# 相撲部 全国学生 相撲選手権大会 団体戦で3位



## 接戦

大番狂わせだった。11月2・3日に堺市大浜公園相撲場(大阪府)で行われた第97回全国学生相撲選手権大会。団体戦決勝トーナメント1回戦、仲間からの声援が後押しし、27年ぶりの第3位を飾った。

予選トーナメントを7位で突破し、決勝へと駒を進めた。1回戦の相手は、予選で1-4と大敗を喫した近大だった。「また近大か」。そんな不安げな声に応援席から漏れ出し、不穏な空気が同志社の力士たちを襲った。

だが先鋒の村上(社2)がその不安をふっしょくした。体格の大きな相手に首をつかまれ倒されかけたが、立て直す。下から攻め込み、寄り切った。

この勝利が同志社に流れを呼び込んだ。負け戦ではないことを感じさせた。しかしさすがの近大、簡単に勝利を譲る相手ではない。田中(法4)が予選で敗れた相手に雪辱を果たすも、残る2人が意地を見せつけられ敗れてしまう。共に2勝2敗となり、同点で大将戦へともつれ込んだ。

## 快挙

西日本大会でも、全国大会でも、何度も近大に屈してきた。その宿敵と互角の戦いを繰り広げてきたが、ここで負けては今までと変わらない。その夢は大将・トゥルトクトホ(社4)に託された。

緊張からか、立合いで相手と息が合わず、何度も待ったが入る。そんな時、仲間たちの声援が響き渡った。その声に背中を押され、再び土俵につく。冷静さを取り戻すと、静かに覇気をみなぎらせた。

立合いは、たまっていた力があふれ出すかのようなだった。勢いよくぶつかりあい、激しさが



大一番で活躍を見せたトゥルトクトホ(右)

増していく。相手を持ち上げ、そのまま土俵の外へ出そうとするも、土俵際で踏ん張られてしまう。しかしまだ諦めない。相手が詰めて前がかりになったところで体を開き、投げを打った。豪快な下手投げ。宿敵との取り組みを制した瞬間だった。

## 兆し

準決勝の東洋大戦

では敗れるも、目標だった3位入りを達成した。大会を終えた主将・竹林(スポ4)は引退に際して「このチームは最高だったと思う。楽しかった」とチームへの思いを語った。

昨年の同大会は10位。悔しい結果をバネに、ここまで成長を遂げた。その道中には多くの苦難があったが、チームが一体となって乗り越えてきた。その中で竹林を始め、力士たちはさまざまな思いを巡らせてきたのだろう。最後の円陣では、その目に涙が浮かんでいた。

停滞が続いていた中で、27年



表彰状を手に笑顔を見せる力士たち

ぶりにつかんだこの結果は、古豪復活の兆しかもしれない。だが、それを証明するためには、今回の勝利が単なる偶然ではないことを証明していく必要がある。これをもって、4年生は引退となった。主力たちが去ることになるが、歴史はこれからも続く。「後輩たちにはこれからそれぞれ個性を生かして、もっといいチームになってほしい」(竹林)。新時代への期待を口にした。相撲部の再起はこれからだ。今回の結果を自信に、さらなる強さを手に入れてほしい。

(小松夕夏・社会学部2年)

連載  
企画

# 片桐家同志社五代記

第三十一回

1960年（昭和35年）、私は岩倉にある同志社高等学校に入学する。

一年生の担任は社会学習を担当された猿橋庄太郎先生で、中学で音楽を担当しホザナコーラスも指導していただいた猿橋恵子先生のお父様であった。一年A組は、男子43名に対し女子は13名で、クラスはG組までであったが総勢388名だ。各クラス女性の人数はほぼ13名で、男子生徒の30%だった。

同志社中学校から他の高校へ移った生徒も若干いたが、殆どは高校への進級組。しかし、試験を受けて入学してきた生徒が約百名加わって、クラスも中学の5クラスから7クラスに増えた。

高校の敷地は、元同志社高等学校の跡地で、広さでは当時日本一だったのでないだろうか。入学当時は、学校の周りに家もまばらで、田畑の広がるのどかな場所であり、殆どの生徒は京福電鉄、いわゆる叡電の三宅八幡の駅から学校まで歩いて通っていた。校舎からは比叡山を真東に見渡す事ができて、ケープル



小倉先生と猿橋先生の結婚式（左から2人目が筆者）

文／片桐 陽（67年・工）  
カーが上り下りする様子がはっきり見えた。春になると、その線路の両側に植えてある桜の花が麓から順番に開花していくさまが楽しめた。

近くには小学校の頃には泳いだこともある宝ヶ池があり、当時はまだジュンサイなども収穫されていた。私の住まいは下鴨の前萩町という所で、北山通に面していたが、そこから加茂川までは畦道しかなく、その北側は全部田んぼだった。小学校のころ、この道を近くに住んでおられた方が飼っておられた山羊とよく

散歩に歩いていたが、この山羊の乳が私の牛乳代わりだった。今ではこの畦道も立派な通りになり、北山橋も出来て、植物園の北側の北山通はお洒落なお店やレストランなどが立ち並び素晴らしい街並に生まれ変わった。

当時、学校までは宝ヶ池を越えれば直ぐのだが公共交通機関で行こうとすると、先ず市バスで出町柳まで行き、叡電に乗り換えて三宅八幡まで、そこから学校まで徒歩、時間も一時間以上掛かる。そこで私は中学校時代に続いて自転車で行くことにしたが、それだと15分ぐらいで学校まで行けた。友達の何人かは50ccのバイクやスクーターで通っている者もいたが、バイクも高かったことや安全面から、父親からも自転車で行うように言われ、三年間自転車通学を続けた。

それと、一年生に入って直ぐに大変嬉しいことがあった。それは、中学三年生の担任だった数学の小倉昭平先生とホザナコーラスの指導をお願いしていた音楽の猿橋恵子先生のご結婚である。私は、高校入学と同時にまたホザナコーラスに入部したが、結婚式には全員でお祝いに歌に行ったことは良き思い出である。

## 今出川・京田辺四季



元同志社東京校友会常任幹事  
早田重彦（66年経）

# 「エリカスパ」の思い出

昭和31年4月、同志社中学に入学した。一年A組。教室は当時チャペルの裏手にあった二階建て木造校舎の二階。建物が古く階段を上る時「ぎゅうぎゅう」と音がした。最初の日、階段を上っている時に後ろの学生とこの音について「おまえしたな」してない。これは木がきしむ音だ」と喧嘩となった。相手はいま精密機器の輸入商社を経営し毎年「春の集いガイドブック」に全面広告を出してくれている佐々木皓夫。長い付き合いの始まりだった。

中学時代はホザナコーラスに入り、毎朝チャペルで讚美歌を歌った。また図書部にも入り、当時中学が使っていた彰栄館の二階に図書室がありよく通った。坪内道遥訳のシェイクスピア全



同志社高校時代の筆者

集やヘルマンヘッセなどを良く読んだ。

高校生活は岩倉で送った。昭和37年4月、経済学部入学。今出川に戻ってきた。立て看板が乱立していた。当時、学生運動には批判的な立場であったので「ノンポリ」で通した。ゼミは「岩根ゼミ」だった。授業の合間にはチャペルの前で友人たちと待ち合わせたりたむろしたりし、昼には明徳館地下の「エリカ」でエリカスパ（マヨネーズベースのサラダスパゲティ）をよく食べた。

入学前の春休み中に友人と騒いでいる時、右肩の鎖骨を骨折し、ギブスをした状態で栄光館の入学式に出た。実はヨット部にも入ろうかなと考えていたがこんな状態だったので結局入らずじまい。卒業後、東京校友会でこの時入っていたら会っていただろうヨット部出身者と付き合うことになった。東京校友会では在学中は知り合う機会が多かった好人物との出会いが多い。幹事年だった2010年「春の集い」のテーマは「更なる絆、新たな縁（えにし）」とした。



# 校友 訪問

## 「ピンチはチャンス」をモットーに

株式会社ファンケル 代表取締役社長執行役員CEO  
島田和幸さん 1979年(昭和54年)法学部卒

1955年(昭和30年)広島県生まれ 1979年(昭和54年)同志社大学法学部法律学科卒 同年4月ダイエー入社 94年社長室秘書部長 99年社長室副室長 2003年ファンケル入社 07年4月執行役員経営戦略本部長 同年6月取締役執行役員 11年取締役常務執行役員 15年取締役専務執行役員 17年4月現職



学生時代から好みのアイビーファッションで

合唱団の会長として楽しい学生生活を送っていた学生が、大志を抱いて飛び込んだダイエーで、稀代のカリスマ経営者に鍛えられ、50歳を前にして移った化粧品と健康食品のファンケルでまた違ったキャリアクターのカリスマ創業者に出会って…。

**合唱団「こまくさ」の会長で活躍**  
出身は広島県の三原市。三菱重工と帝人があって、典型的な「企業城下町」でした。そこで中学二年までは優等生だったんですが、以降は三原高校までバレーボールに熱中して、まったく勉強せず(笑)。母子家庭でしたので国立大を目指すものの、当然失敗。その浪人期に「同志社に行きたい」と母に相談。厳しい母でしたが、そこなら、と

許しを得、法学部と経済学部にも合格となりました。そこでまあ、あこがれなんです(笑)、弁護士とか検事とか将来像が分かりやすい法学部法律学科に進学。でも法曹界目指し勉強に励むはずが、入学早々のオリエンテーションで方向が一変。スポーツは高校まで、大学では合唱団に入ろうかな、と思っていました。グリーは男子ばかりで厳しそうだし(笑)、やっぱり女子がいて楽しそうな混声がいいな、というわけで「こまくさ」を選択。結局、以降はBOXに入り浸りになってしまいました。三回生で会長になり、一乗寺の下宿に後輩を呼んで面倒見たり、もう酒と歌の日々。今でもカラオケは嫌いではありません(笑)。一方、勉強はほったらかし。法学部でも一番人気の「小橋ゼミ」で落ちこぼれ組でした。就職期、法曹界は夢のまた夢。さて…。これからは金融関係より流通の世界が志をもって働けるのではないかと考えて、当時台頭していたダイエーに就職を決めたのです。ただ、同時に地元三原市役所の内定も頂いて

いて、親孝行するかな、という思いもありましたが、やはりダイエーへ。これも人生の大きな岐路だったかもしれません。  
**二人のカリスマのことで**  
当時のダイエーは、中内功社長が経済界の風雲児的存在で、会社の発展そのものが社会現象のような注目のされ方。今の孫正義さんとソフトバンクのような感じだったように思います。中内さんは、まさにカリスマ。広島駅前店からスタートして十年間、幾つかの部門で修業をさせてもらった後、はからずも「秘書課」へ転属。異例の人事だったようですが、そこで課長として中内さんの「聲が、接する」ことになりました。外からは、幸運だとか貴重な経験とかに見えたかもしれませんが、本人は正直、大変な日々(笑)。記憶力のいい人で、よく失敗を指摘されました。今では「教育的指導」も楽しい思い出ですが、当時はほんとに怖くて、半年で立派な十二指腸潰瘍(笑)。でも1995年の阪神・淡路大震災のときの復興のための中

内さんの阿修羅のごとき奮闘ぶりには感銘を受けました。2003年に縁あってファンケルに入社してから16年。ダイエーは大衆がお客様で、ファンケルは通信販売を中心に一人一人のお客様と手厚く接する会社。また、小売業に大志を抱いていた人間がまさかメーカーの社長に、ということ、これも人生の綾かなと思います。ただ、ファンケルにもカリスマ創業者がいました。創業者の池森賢二は仏様のような人ですが、責任の取り方など多くを教わりました。それにしても、サラリーマン生活の中でのろんなトップに仕えてきたわけですが、その内のお二人がカリスマ的な創業オーナーというのも人生の彩りとしては強烈ですよ(笑)。座右の銘は「ピンチはチャンス」。この逆境が必ず自分のためになる。今年ファンケル創業40周年です。ワクワクしながら未来に向かいたいですね。  
\*  
文責/谷村和典(72年・文)  
写真/片桐 陽(67年・工)

つなげる絆、広げる絆

あの「洛紫会」を復活させたい！

「平成」「令和」卒業の校友クローズアップ

同志社東京校友会幹事  
弁護士 吉田太郎さん(2001年法学部法律学科卒)

東京校友会の先輩方にも認知度の高い吉田太郎さん。東京校友会との出会い、どのような関わりを持ってこられたのか、「校友会への思い」をお聞きしました。



吉田太郎さん

Q 東京校友会は何がきっかけで知りになりましたか？  
吉田 出身高校こそ千葉県ですが、実家が関西の僕にとって東京での知り合いは大学のサークル仲間くらいでした。司法試験に合格後、私の人脈づくりを考えてくれた先輩が「東京校友会の『春の集い』っていいのがある。行ってみたい」と勧めてくれました。そ

こで一人で出席した2009年の「春の集い」で同年代の橋本哲也さんが声をかけてくださり、「今度魚谷さんの講演会があるよ」と誘われたのです。それが後に運営にも関わることになる「洛紫会」でした。日本コカ・コーラ会長(当時)の魚谷さんのお話はすごく刺激的で励まされました。出会いがあり、人脈が広がっていききました。  
Q 仕事にもつながったとか？  
吉田 皆さんにお気遣いいただき、すぐ仕事になるといいますが、やはり校友会で出会った方のお仕事でした。他にも、卒業生つながりの顧問先の会社が大変大きく成長されています。感慨深いです。  
Q お忙しい日々、調整して出席される理由は何でしょうか？  
吉田 仕事に追われて単調になりがちな日常に風が入る、そんな存在です。同窓というだけで



「2019年特別協力会員の集い」にて(左端が吉田さん)

自然に親しくなれる卒業生コミュニティは一つの拠りどころになります。可能な限り関わりたいと思います。やはり、「洛紫会」を復活したいですね。いったん引き受けながら運営できず活動休止になっていますが、その復活が恩返しになればと。はじめ「春の集い」に参加して10年たち、最近では、来ている若い人に人を紹介できるようになりました。これも嬉しいことです。こうやってお話ししながら振り返ると、「春の集い」も10年前よりは若い人が増えてきましたよね(笑)。

文責/安永昌代(81年・経)

【吉田太郎さんプロフィール】

2001年法学部法律学科卒。  
テニスサークル「クリーム」所属。  
2004年11月司法試験合格。  
2005年4月司法修習生として埼玉に。2006年10月より、みらい総合法律事務所所属。

関東同志社スポーツユニオン総会レポート

ラグビーW杯の熱狂が続く10月27日(日)、同志社ゆかりの神田・学士会館において、第16回関東同志社スポーツユニオン総会が開催されました。来賓・役員含め170名以上の方々が参加。活気あふれる総会となりました。

総会は3部構成で、第1部では、活動報告や運営方針の承認

のあと、大学生支援機構からは最近制定された「同志社スポーツ憲章」の説明があり、スポーツユニオン本部からは、2月に18年ぶりに発刊される「同志社スポーツの歩み 第三版」のご案内がありました。

第2部に移り、今年の東京オリンピックの盛り上げを図るべく、「同志社オリンピック」に聞く TOKYO 2020のテーマでパネルトークが行われ



パネルトーク「同志社オリンピックに聞く TOKYO2020」  
左から司会の三上さん、我孫子さん、長畑さん、杉浦さん、兵藤さん

ました。兵藤和行(ヨット)杉浦正則(野球)長畑弘伸(水泳)我孫子智美(陸上競技)の4氏によるオリンピック出場時のエピソードや東京大会への期待が語られ、出場した方でなければわからない、面白いお話で最高の盛り上がり。  
第3部の懇親会では、例年通り、東京校友会より、関東開催全国大会出場クラブへの支援金贈呈が行われました。

文責/青木重之(78年・経)



「TE HANDEL platform」

- 住所：神奈川県中郡大磯町大磯1009 ISOビル1F
- 電話：0463-61-1327
- 定休日：第3月曜日
- 営業時間：9：30～18：00（LO17：30）
- ランチ：3種のオープンサンドと大磯野菜とハーブを使ったサラダセット 1,300円（11：00～16：00）
- デザート他：抹茶アフォガードやケーキと季節のフルーツのデザートセットなど。
- 席数：15席



# 新島襄終焉の地 JR大磯駅前の 小さなテイーショップ

店名の読み方は「ティーハンデルプラットフォーム」。意味は、お茶屋さん。でもただのお茶屋さんではありません。

（好評連載）首都圏・校友の店

10

TE HANDEL Platform



オーナーの加瀬さやかさん

同志社の創立者「新島襄」終焉の地である大磯の駅前に、ナチュラルで落ち着いた雰囲気のお店構えの「TE HANDEL Platform」があります。お店のオーナーは、鎌倉生まれの加瀬さやかさん（2000年・経）。

少し変わったキャリアの方で、高校時代も含めて2回のスウェーデン留学経験を持ち、同志社大学経済学部には3回生で転入、茶道部で修業。さらに卒業後は、シンクタンクで活躍、といった大変幅広い経験が、現在のお店の経営をとってもユニークなものにしています。

その一つは、すべてオーガニック認証を受けた素材を使い、加瀬さんのレシピを基にしたウエーデンのブレンドが調合した香り豊かなフレーバードティー、イギリスやフランスではなく、いわゆる「北欧紅茶」を提供していること。メニューが豊富で、どれも香りも色合い



香りも色合いも豊かで個性的な品揃え

も豊かで個性的な品揃えになっています。

もう一つの特徴は、地元大磯へのこだわり。比較的温暖な大磯は、ハーブ栽培に適した環境で、地元社会福祉法人と共同でハーブを生産し、できる限り地元産の素材を使っています。

「TE HANDEL」ブランドを育てていくことで、地元経済の活性化に寄与すること。そして大磯で人々がボウダレスに繋がっていく媒介役になること。こういった大きな世界観を持つて事業展開されています。

ぜひ一度お店を訪問し、お茶の豊かな世界を堪能ください。

●東京校友会会員特典のご案内  
店内での喫茶ご利用は、会員登録提示で10%OFF。

文責／青木重之（78年・経）  
写真／新田博伸（77年・法）



人は寝ているあいだも、  
空気を吸っている。

だから私たちは、人の心と体に  
心地よい空気とは何かを考えて続けます。  
人と空気のあいだに、いつもダイキン。

ダイキン工業株式会社

評議員会・幹事会  
合同会議報告

2019年11月28日(木)、今年度の「第2回評議員会・第3回幹事会合同会議」が開催されました。冒頭児玉会長から校友会活動の現況について話があり、その後、代表幹事議長のもと議事に入りました。

当日は1号議案として①特別協力会員の集い(井手口常任幹事)②第5回ゴルフ大会(近藤常任幹事)③奨学金募金について(阪口事務局長)④ALL DOSHISHA 2025募金活動(井手口常任幹事)などの報告、2号議案として「2020年春の集い」の実施計画について吉岡実行委員長から説明。また3号議案として、来年の「生涯の地碑前祭」の実施計画について菊池常任幹事から協力をお願い

がありました。続いて4号議案では、来年度が東京校友会の役員・幹事・評議員の改選年度に当るため、その手順説明を阪口事務局長から行い、あわせて11月時点での評議員・幹事・常任幹事の追認、退任の報告を代表幹事から行いました。

最後に次回幹事会(2020年3月26日)実施予定を連絡して無事終了いたしましたので報告いたします。

文責/横山 徹(71年・工)



吉岡実行委員長から「2020年春の集い」の実施計画説明

新島襄生誕の地  
碑前祭のお知らせ

今年も同志社の創立者・新島襄先生の生誕を祝う「生誕の地碑前祭」が近づいてきました。

場所は新島先生が生まれた江戸安中藩邸のあった千代田区神田錦町の学士会館です。今年は生誕177年になります。

新島先生の生まれた2月12日(水) 10時45分より学士会館南側の「生誕の地碑」の前で碑前祭、11時20分より学士会館内の210号室で講演会、13時より202号

室で午餐会を開催いたします。

今年の講演会は生命医科学部の八木雅之教授に「老化の主犯である糖化から身を守る対策を学ぶ」というテーマでお話しいただきます。講演会の前には、希望者に最新機器を使ってAGEs(糖化最終生成物)の蓄積量を測定いたします。

午餐会は、東京校友会ホームページからも参加のお申し込みができます。

多数の校友の皆さまのご来場をお待ちしています。

文責/菊池論(75年・法)

編集後記

明けましておめでとうございます。

今号から連載コラム「今出川四季」は、「今出川・京田辺四季」に改題しました。大学の学部増と再編によって、京田辺キャンパスだけで4年間を過ごした校友が増えてきたためです。

東京ジャーナル編集委員会で、評議員や役員の改選に伴い、即戦力となる編集委員(記者・カメラマンなど)を募集します。本誌の企画・取材・編集・校

正などに興味がある方は、ぜひ、東京校友会事務局にご連絡ください。お待ちしております。

文責/新田博伸(77年・法)

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

2020 January. NO.118 同志社東京校友会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F

電話: 03-5579-9728

FAX: 03-5579-9729

発行人/児玉正之

編集人/新田博伸

印刷/株式会社スバルグラフィック

http://www.doshisha-tokyo-alumni.jp

mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ  
ログイン情報

ID=doshisha  
PASS=1875

IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します!

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供  
広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う  
深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制

早く  
EARLY

広く  
BROAD

深く  
DEEP

明光電子 株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル

FAX: 045-471-2377

E-mail: info@meicodenshi.com

045-471-2223

明光電子 | 検索

代表取締役 十川 正明  
(昭和48年 機械工科学科卒業 合気道部)